講義名	財務会計論 (マーケティング学科) 授業形態				その他	その他				
即等无口	別のない (マークティングチャイ)	12米ルバル			トを使用しません。講義資料を配布します。					
AD VI th D	em &×	開講期・曜日・時限 後期 月曜日 1時限								
担当教員	島田奈美	W 4-#L 2	ナンバリ	リング・コー						
		単位数 2 履修開始	年次 2年生 プラバ	ACC281	_					
主題と概要					授業計	3				
会計には、企業の外部の利害関係者(株主、取引先、消費者など)に対して情報を提供する財務会計分野と、内部の利害関係者(経営者)に対して情報を提供する管理会計分野がありますが、本授業では 前者について学習します。財務会計は、財務議会(賃借別期表や増益計算書)を通じて、外部の入々に企業活動を選集に開示する役割を主に果たしてきましたが、現在では会計(制度)の変化が企業活動自 体に変化をたらしているということも事実です。 体に変化をたらしているということも事業です。 てている調査では、単に財務会計の実置と対象が対象が関係している。 で対象会が必要を与に割すていきます。 で対象会が必要を与に割すていきます。 本調度では、また、別株会計の学習となる経知調として、簿記の基本的に部分の学器を通じて、財務議表の仕組みや計算構造を確認します。次に、これらを定める会計制度の理論的背景を学習したう 入で、設計制度の変化が企業経過に言じると参数に必要といる。 会計が社会で集たすな割を学んでいきます。					活動自 1. 場合	1. 会社の意義と領域 予留内容:シラバスの確認。これまで受講した海記・会計関連科目に関する資料やノートの整理。(120分) 復国内容: 講演資料を優別し、授集内容の運輸を深める(120分)				
					を通じ 復習内					
					ンたつ 2. 財 予習内 復習内	2. 財務会計の機能 予習内容:事前に掲示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分) 復習内容:講義内容を歴史・復習し、理解を深める。講義課題に取り組む。(120分)				
						3. 企業会計の法規制(1):制度会計、会社法による会計 子智容:事前に掲示する講義首和の中で、理解が報告とうな部分を確認しておく。(120分) 複数内容・振りに関して、理解が最近に取り組む。(120分)				
					4. 企 予習内 復習由	4. 企業会計の法規制(2):金額商品取引法、法人税法 予習内容:事前法方する講義資料の中で、理解が難(そうな部分を確認しておく。(120分) 復習内容: 事前法内容を整理、侵置し、理解を深める。議義課題に取り組む。(120分)				
						5. 海紀の基本(1): 推進の場合(1): 海水流の場合(1): 2000 (1):				
到達目標 (1) 薄記の知識の習得をできるようになる。										
(1) 類記の知識の習得をできるようになる。 (2) 財務会が基理期間の習得をできるようになる。 (3) 新聞記事やニュースで取り上げられる会計問連記事を読み、理解できるようになる。					6. 薄 予習内 復習内	6. 帰記の基本(2):描述計算書、貸借対照表 予習内容:等前に掲示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分) 復当内容:環境内容を整定、侵当し、理解を求める。講義課題に取り組む。(120分)				
						7. 薄記の基本(3): 株主資本等計算書、キャッシュ・フロー計算書 予習内容:事前に掲示する講義資料の中で、理解が観せそつな思分を確認しておく。(120分) 復習内容:議典内容を整理、復盟し、理解を深める。議職課題に取り起む。(120分)				
					予習内 復習内	8. 端記の基本(3): 利益計算と財務議表 予国内容:事前に掲示する講義領内中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分) 復国内容:講義内容を整理・復首し、理解を深める。講義課題に取り組む。(120分)				
					9. 1	9. 1から8までの講義のまとめ 予管内容:事事に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分) 復覧内容:編奏内容を整理、保管し、理解を深める。講義課題に取り組む。(120分)				
提出課題						10. 会計理論と会計ルール 予盟内官 事師に抵示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分) 復国内容:講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組む。(120分)				
講義内容の理解度を確認するため、次の課題を課します。 1. ミニレポートを日ば毎回窓施 2. 中間試験はたは課題)を回案施					11. 企 予習内	11. 企業会計原則(1): 真実性の原則、正規の簿記の原則、印酸性の原則、経続性の原則 予省内容: 事前に掲示する講義資料の中で、理解が織しそうな部分を確認しておく。(120分) 復省内容: 議議内容を登座・復営し、理解を深める。議義課題に取り組む。(120分)				
選題の実施方法については、講義中の指示に従ってください。										
						12. 企業会計長則(2):保守主義の原則、資本・利益区分の原則、単一性の原則、重要性の原則 予閣内容:事前に携示する講義器向中で、理解が領生で入立を全確認しておく、(120分) 復復内容・講義内容を変理・侵召し、理解を求める。講義課題に取り損む。(120分)				
					13. 利 予習内 復習内	13. 利益測定の基礎総念 予習内容:事前に掲示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分) 援当内容:講教内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組む。(120分)				
					14 38	14. 资产测定の基础概令				
						・				
	や小テスト等)に対するフィードバックの方法					15. 10から14までの講義のまとめ及び期末課題の説明 授業形態(アクティブ・ラーニング)				
中間試験(または課題)および毎回のミニレポートを実施した後、解説を行います。 課題については、実施後に評価ポイントを中心に解説します。				0	ア:PBL(課題解決型学習)			イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)		
						ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション			エ:グループワーク	
						オ・フレビンテーションキ・その他(AL型であるけども、以上の項目	のいずれにも該当しない場合)		カ:実習、フィールドワーク	
						1				
						卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
評価の基準					_	目標(1) - (3)を遊成することで、以下のディブロマポリシーの遠成に貢献します。				
計画の歴史 - 中間試験または課題(30%): 講義内容の理解度を確認するための総合問題 - 毎回のミニレポート(30%): 毎回の授業内容の理解度を確認するための協別問題。						マーケティング学科 (1)・マーケティング動向、流通業界及び関連業界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、マーケティング、ブランド戦略、小売業界、流通に関する問題探索、課題提案ができる。				
・毎回のミニレポート (30%): 毎回の授業内容の理解皮を確認するための個別問題。 ・期末課題 (40%): 講義内容の理解皮を確認するための総合問題					プラン (2)	プランド戦略ユース の重句で、一ク学のマーケティング活動やその仕組み、役割、プランド構築の意味を理解し、変化する消費者を的確に捉え、これに対応することができるとして、企業や組織のリーダーに求められる、具体的な改善策 ・ 中解決策の提案ができる。 派達ピンネスコース				
以上を総合的に評価します。					流通と	や権力が成功があれてきる。 活達さど、大部分ステムとしての活達の動態や仕組み、役割を理解し、これからの活達の姿を模型することができる。 (3) ・ 小売業の社会的意義や日本経済における重要性について深い関心や理解をもち、それをもとに社会で活躍することができる。				
 					(3)	 小元業の任会的息義や日本経済における里 	要性に プロ (深い関心や理解をもち、 それをもとに	- 红尝 C	活躍することができる。	
履修にあたっての注意・助言他						ロナムは半の中では、1/1/17のはロー眼ナックで				
<注意>						双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 キャンパスクロスを使って資料・課題の配布・回収を行います。				
・講義資料は、講義中に配布します。欠席者等への対応としてキャンパスクロスへもアップしますが講義の進捗の関係で遅れることがあります。 ・中間・駒未課題は定期試験と同様の致いとし、提出期限は厳守とします						NAVIACE J CRAT INCOME IN EINC	JV 10× 7 6			
<助言>										
・専門用語や概念的説明が多く、理屈っぽい内容となっています。関心が持てる内容かどうかを確認するために、事前に「企業会計入門」を履修することを強くお勧めします。 ・概念的説明をより具体的に理解するために、類応のテクニック(仕訳、転記)を使って説明をします。したがって、「基礎順記」「商業簿記」」を履修済みあるいは履修中であること、あるいは、日商簿 記検定 3級の知識があることが望ましいでしょう。					日商簿					
心(火た) 歌の(火調() からこと() 坐ましい() ひょつ。										
					実務経	実務経験の有無及び活用				
market with										
教科書 .使用しない.		1	1							
2000-000		1		+ + -	ttt sty					
参考図書		<u> </u>			備考					
.財務会計講義[第	25版].	桜井久勝	中央経済社	4180 9784502550071						